

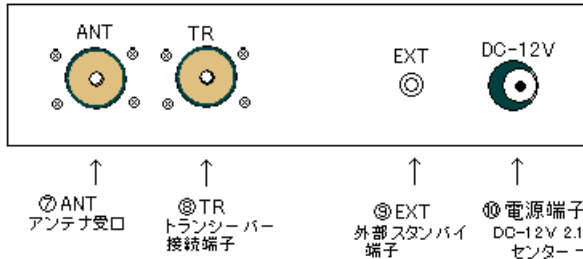
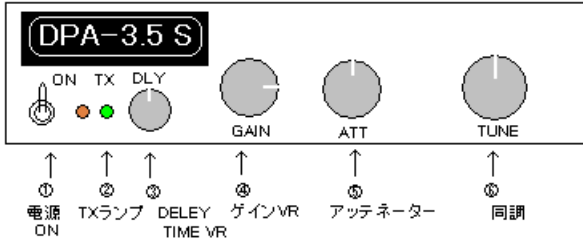
DPA-3.5S

プリセクター内蔵型ローノイズプリアンプ
3.5MHz~3.81MHz -30dB~+25dB 連続可変

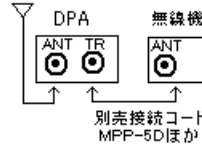
DPA-3.5Sは 3.5MHz帯専用 ローノイズプリアンプです
高性能デバイスを使用し、高性能、高利得、低雑音、低価格を実現しました

特長

- 1、高性能、低雑音です
- 2、高感度キャリアコントロール回路の内蔵により、送受信の自動切換ができます
- 3、外部スタンバイ機能を設けていますので、DELAY TIME VRを調節すると、CW運用時のリレーのバツキや、とぎれがなくなります
- 4、電源をOFFにすると、トランシーバーとアンテナがスルーになります



接続方法



EXT 外部スタンバイ端子接続図



- ①電源ON……… 電源SWをONにすると、赤LEDが点灯します OFFにするとトランシーバーとアンテナがスルーになります
- ②TXランプ………送信し、プリアンプ内のキャリアコントロール回路が動作すると点灯します
EXT(外部スタンバイ)入力時も点灯します
- ③DLY(DELAY)TIME VR…… DELAY TIME VRをMAX(右側)にすると、キャリアコンが約1秒遅延します
EXT入力しない時にはMAXにしてください
- ④GAIN……… プリアンプの増幅利得(ゲイン)調整ボリューム 通常は右いっぽいに、しておきます
信号が強すぎる時は、レベルを下げます(左に廻します)
- ⑤ATT(減衰VR)……信号が強力の場合、入力を減衰させます(左に廻して減衰させます)
- ⑥TUNE……… 良好に受信できるように同調をとります Sメーター、又は音量が最大になるように同調をとります
- ⑦ANT……… アンテナ受口 50Ω M型
- ⑧TR……… トランシーバー接続端子 トランシーバーと同軸で接続します M型
- ⑨EXT……… 外部スタンバイ端子 トランシーバーと接続し強制的に送受信の切替が行えます
- ⑩電源端子………電源入力端子・DC-11V~14Vで動作します

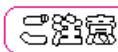
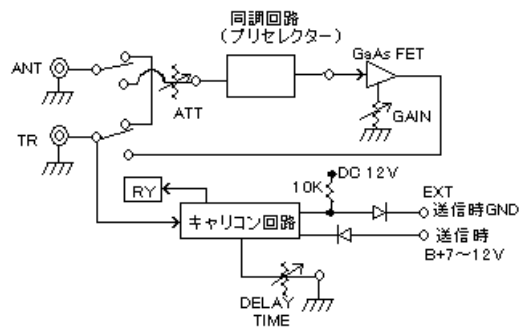
運用方法

- ★本機の電源をONにすると、赤LEDランプが点灯し、受信プリアンプが動作し、トランシーバーのメリットが向上します
- ★TUNEツマミを廻して良好に受信出来るように、Sメーターが最大になるよう同調をとります
- ★CW運用時は音量が増加します 又、入力信号がないときは、雑音が増加しますがS/N比は改善されます
- ★信号が強すぎる場合は、GAIN VRを左に廻してレベルを下げます
又、ATT(減衰VR)で、信号が強力の時、入力を減衰させます(左に廻して減衰させます)
- ★CW運用時は⑨EXT(外部スタンバイ端子)とトランシーバーを接続します
- ★強制的に送受の切替を行えますので、DELAY TIME VRでリレーのチャタリング、バツキが、スムーズになるよう調整して下さい
- ★EXT端子に接続出来ない時は、必ず DELAY TIME VRをMAX(右廻)にしてください
- ★送受切り替えリレーの動作時間が、約1秒遅れますので、リレーのバツキがスムーズになります。しかし、送信から受信に移っても約1秒程度は受信プリアンプは動作しません

DPA-3.5S

- 周波数範囲………3.5MHz~3.81MHz
- 増幅利得………-30dB~+25dB 可変型
- ATT減衰量……… -30dB~0dB 可変型
- 通過電力……… 300W MAX
- キャリアコン動作電力…… CW 10W 以上
(100W以上の時はEXT(外部スタンバイ)で)
- 電源……… DC11~14V 150mA
- サイズ………200×150×50H mm

DPA-3.5S 構成図



本機は、無線局運用のための周辺機器です
一般民生機器ではありません
*電波法で定める無線従事者等の技術者
がその資格の範囲により責任を持って使用する
機器です。運用上及び使用上の安全には
充分注意の上ご使用下さい。